

## 県産材の需要と供給を一体的に創造しよう!!



■表紙写真 題名：トレーニング 撮影場所：御殿場市深沢東 撮影者：加藤 智子氏（富士市）

### INDEX

本誌はホームページでも掲載しております。是非ご覧ください。URL：<http://www.moritohito.jp>

- 2 首長は語る (No.39)  
奇跡の自治体・長泉町
- 3 支部だより①  
「ふるさと」と言いたくなる夕陽のまち」を目指して
- 4 支部だより②  
ええら森町 自然の宝庫 町民の森 を歩く
- 5 県庁だより①  
森林の土地の適正な利用のためのルール ～林地開発許可制度～

- 6 県庁だより②  
「狩猟解禁」
- 7 県庁だより③  
「環境教育におけるネットワーク構築に向けて始動しました!!」
- 8 本部情報
- 8 事務局だより

### 別冊折込

平成26年度しずおか森林写真コンクール入賞作品

# 首はる 長語

● No.39

## 奇跡の自治体・長泉町

長泉町長 遠藤 日出夫

### 奇跡の自治体とは

平成22年4月9日の週刊誌の見出しに使われたタイトルで、その年、国土交通省が発表した地価公示によると、全国で住宅地の地価が上昇したのは6地点だけ、その2地点が長泉町だったのです。地価だけでなく子供の出生率も県下トップクラス。少子化を克服した自治体として、その不思議に迫るといふ記事内容でした。

町には、豊富な地下水と交通の利便性から、多様な企業がバランスよく立地しており、不況に見舞われても、町全体としては比較的ダメージを受けにくい産業構造となっています。そのようなことから、昭和58年から連続して地方交付税不交付団体となっています。

### 住みやすい環境

品川まで新幹線での通勤時間が40分たらずと東京への通勤には至極便利な位置にあり、しかも朝の通勤時間帯には6本もの始発電車があることが、住宅地の地価が上昇した理由の一つとして考えられます。

また、中学生までの医療費が無料、2子目から保育園、幼稚園の利用料を無料とするなど子育て支援、教育



環境に重点を置いた施策が功を奏し、3人以上の子供がいる家庭もあり、年少人口の割合が高く、高齢化率が県内で一番低いという特徴もあります。その結果、未だに人口が増え続け、県外からの移住者も多いため、町としては大きな4万2千人余の人口規模となっています。しかも、移住者と元からの住民とが何ら違和感なく、自然に溶け込める文化的土壌も培っています。

### 恵まれた自然

自然環境にも恵まれ、愛鷹山麓など身近な所に、野鳥のさえずりがこだまし、四季折々の草花が咲き乱れる自然がそのまま残っています。特に、愛鷹山系を源とする桃沢川の溪流沿いには、“自然との共生”をテーマに川の地形を生かした親水公園「水と緑の杜公園」が整備されています。つり橋やビオトープゾーン、芝生広場のほか、水遊びが楽しめる池もあり、週末にはハイキングに訪れる家族連れでにぎわっています。



また、黄瀬川富士溶岩流の断崖に形成された「鮎壺の滝」は、高さ9m、幅65mの滝で、溶岩の間から流れ落ちる様は見事な景観です。借景に富士山を望むこともできることから「富士見の滝」とも呼ばれており、伊豆半島ジオパークのジオポイントとなっています。



### 鳥獣被害問題

身近に自然があることから、当町も御多分に漏れず鳥獣被害の報告は数多く受付けています。特に町の山間部でサル、シカによるサツマイモやトウモロコシなどの農作物に被害が拡大しています。最近では、サルが、開いた窓から屋内へ侵入するだけでなく、引き戸を開けて入ってくるケースもあり、住民は身の危険を感じるなど不安の声も上がっています。町では、住民による自己防衛のための啓発を行うとともに、被害者宅に威嚇用の爆竹等をお渡ししています。

また、農業者には従来の防護柵のほか、音波による忌避装置が効果的であることが証明されたため、昨年度から補助の対象としました。しかし、これらの対処は、根本的な解決にはつながらず対応に苦慮しているところ です。



### おわりに

町内企業の退職者からなる組織が、遊休農地を活用してサツマイモ栽培を行い、そのサツマイモを酒造メーカーに委託して焼酎「玉楠」を製造しているとのこと。まだ市販はされていませんが、今、儲かる仕組みを検討中とのことでした。町長室に、その「玉楠」がズラッと並んでいたのが印象的でした。

# 支部だより①

## 「ふるさと」と言いたくなる夕陽のまち」を目指して

西伊豆町 産業建設課

「ふるさと」と言いたくなる夕陽のまち」を目指す西伊豆町からは、夕陽の絶景ポイント、トンボロ現象などによる地域おこしについて紹介していただきました。

西伊豆町は、伊豆半島の西海岸の中央に位置し、西側は駿河湾に面し、東側は急峻な天城山系が連なる自然に囲まれた美しいまちです。

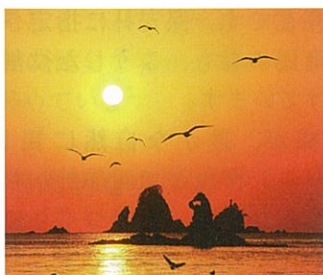
全国的にも有名な景勝地である堂ヶ島や黄金崎などと豊富な湯量を誇る温泉を活用した観光産業をはじめ、駿河湾を舞台とした漁業、天城山系の清らかな湧水によるワサビ栽培に代表される農業など、豊かな自然を背景とした生活が営まれています。

### 夕陽のまちづくり

そんな西伊豆町において、現在町のキャッチフレーズである「ふるさと」と言いたくなる夕陽のまち」を目指し、夕陽をまちのシンボルとして捉え、新たなまちづくりを進めているところです。

町の多くが国立公園・名勝地に指定され、海岸や島々、奇岩を前景に海へ沈む夕陽はとても美しく、平成17年9月、大田子海岸にて「夕陽日本一」を宣言しました。

特に、大田子海岸からの夕陽は一年の内、春分の日と秋分の日だけ田子島（雄島、女島）の真ん中に夕陽が沈む特別な場所で、「夕陽日本一宣言」を行なった場所でもあります。ベストシーズンの3月と9月には県



▲「大田子の夕陽」

内外からの多くのカメラマンが訪れています。

堂ヶ島の三四郎島では、トンボロ現象を見ることができます。トンボロとは潮の干満により、干潮時に海に出来る「道」のことを言います。

トンボロを見ることのできる場所は全国的にも珍しく、県の天然記念物にも指定されています。



▲「瀬浜海岸のトンボロ現象」

宇久須地区「黄金崎」は、岬全体が黄金崎公園となっており、雄大な駿河湾と富士山を楽しむことができます。特に、風化した安山岩が黄金色に変色したプロピライトは県の天然記念物にも指定されていて、日に照らされるとまるで黄金色の馬が水を飲んでいるようにも見えてきます。



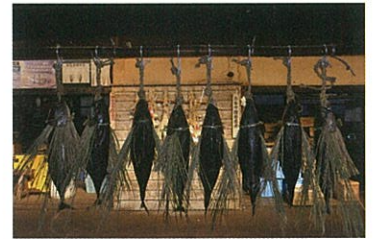
▲「黄金崎のプロピライト」  
愛称名 馬ロック（うまるっく）

今年、西伊豆町商工会で黄金崎公園先端の馬に似た岩肌の愛称を募集し、素敵な愛称「馬ロック（うまるっく）」に決定しました。

### 地元固有の資源の再発見

こうした動きは夕陽以外にも波及し、地元を見つめなおし地元固有の資源を多くの方に知ってもらいたいという気運が高まってきています。

当町田子地区に古くから伝わる「塩かつお」です。これはカツオを塩漬けにしたもので、カツオ漁で栄えた漁師町の保存食として伝えられ、地域では航海安全と豊漁豊作、子孫繁栄を祈願しワラでお飾りを付けてお正月に「正月魚（しょうがつよ）」と呼びお供えしているものです。



▲「しおかつお」

この味を広めようと「しおかつおうどん」や「しおかつおお茶漬け」など様々な食べ方が研究され、地元飲食店で食べられます。

他にも、宇久須地区がガラスの主原料である珪石の日本一の産地であった



▲「かも風鈴」

ことから、ガラス作家が町内に移住し、創作活動に励み、一般の方もガラス作品作りを体験することができます。また「黄金崎クリスタルパーク」では世界中のガラス作品を鑑賞することができ、特に地元ブランド「かも風鈴」は、地元ガラス作家が一つ一つ作り上げる世界でただ一つの風鈴であり、夏場には涼しげな風鈴の音色が響き渡ります。

このように西伊豆町は、夕陽はもちろんのこと、黄金崎のプロピライト・瀬浜海岸のトンボロなど町全体がエコミュージアムであり、町内各地で様々なエコを発見することができます。

ぜひ一度西伊豆町にお越しいただき、あなただけのエコポイントを探してみてくださいはいかがでしょうか。

# 支部だより②

## ええら森町 自然の宝庫 町民の森を歩く

森町産業課

「遠州の小京都」と呼ばれる森町からは、「町民の森」について紹介していただきました。

### 町民の森の紹介

町民の森は、新東名高速道路「遠州森町スマートIC」から、5分程(2.5km)北へ進んだ位置にあり、交通アクセスの良い場所です。

森町橋地区は、保健休養の場として多くの人々が利用できるように、平成9～14年度まで、静岡県が治山事業によって整備を行いました。

その後、「豊かな自然に囲まれたこの町に、町民が集い、憩えるような自然環境に恵まれた施設を作ってほしい」との故・望月ひささんの生前の篤志寄付により、この町民の森は作られました。南ゲート入口には、望月さんをたたえる顕彰碑が設置されています。

四方に広がる広大なパノラマと四季折々の山野草に出会える自然の宝庫として快適な散策を楽しむことができます。キキョウ、ササユリ、ハ

ルリンドウなど、おなじみの山野草が楚々とした美しい姿で咲き、ウグイス、メジロ、オオルリなど、野鳥のさえずりもひびき、里山の醍醐味を満喫させてくれます。

それでは、お薦めの散策コースを1つ紹介します。

### ■南ゲートコース

(2.0km、所要時間 約1時間)

南ゲート駐車場→①やすらぎの丘→②グリーンガーデン→③夕日の見える丘→④木漏れ日の道→南ゲート駐車場

### ☆☆スポットガイド☆☆

#### ①やすらぎの丘

南ゲート入口にある展望台。町民の森全体や山あいの美しさを一望でき、約40ヘクタールの広大な自然を満喫することができます。

#### ②グリーンガーデン

かわいらしい山野草がいっぱい。あちらこちらで山野草ウォッチングが楽しめます。ちょっとした広場になっていますので、小休憩の場所やお弁当広場としてもご利用いただけます。

#### ③夕日の見える丘

コースの中心にある展望台。展望台のふもとには、ブナやコナラなど落葉樹の森が広がり、秋には紅葉ウォッチングも楽しめます。その名のとおり、夕日の沈む時刻には、山あい美しく染まり、ロマンチックな気分が味わえます。

#### ④木漏れ日の道

リョウブやコナラなどの美しい落葉樹のアーチに包まれ、優しい木漏れ日がそそぐ遊歩道。空気の澄んだ森の道では、可憐な山野草をあちらこちらで発見することができます。歩くたびに、新しい発見と心地よい森林浴が味わえる遊歩道です。

### 来訪者の感想

あずまやに置いてある「雑記帳」に記載された多くの感想の中から、1点を紹介します。

#### ○掛川市の方

掛川から初めて息子と姉と3人で訪れました。

近くにこんなにすばらしい所があるとは、知りませんでした。さくらの可憐な花、ミヤマツツジの美しさ、ドウダンツツジのひそやかな美しさ、空が近くに見え、すばらしい青空と空気の新しさでした。

自然を大切にしてくれて、本当にありがとうございます。

### おわりに

森林は、水源の涵養や土砂流出の防止など、さまざまな働きがあり、地域の社会、環境、経済を支える大切な存在です。保安林に指定されている町民の森も、こうした役割を担い続けています。

皆様が、豊かな自然に親しみ、ウォーキングなどで四季折々の変化を楽しみながら、健康づくりにお役立ていただければ幸いです。町民の森に是非おこしく下さい！



位置	周智郡森町橋575-1 (代表地番)
施設	駐車場2カ所、テーブル・ベンチ各所、トイレ他
面積	39万6,000平方メートル
管理車道	2,600メートル
遊歩道	3,800メートル
生育植物	約23科、100種
来訪者数	年間約1万人



# 県庁だより①

## 森林の土地の適正な利用のためのルール ～林地開発許可制度～

交通基盤部 森林局 森林保全課

森林の適正な利用のためのルール「土地開発許可制度」について紹介していただきました。

### 林地開発許可制度について

林地開発という言葉に皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。きっと良い印象をお持ちの方は少ないかと思います。それは、乱開発を想像し、不安を感じるからではないかと思います。これは、森林が木材等の生産のほか、国土の保全や水資源のかん養、大気や水質の浄化、保健休養など私たちが生活をしていくうえでなくてはならない大切なものであるということ、皆さんが十分認識しているからではないでしょうか。

一方、社会経済動向の要請から、自己の森林を他の用途に転用し有効に活用することは、県民が豊かな社会生活を営むためには必要なことでもあります。

そこで、無秩序な開発によって土砂崩れや河川の異常増水などによる災害や生活環境の悪化など県民生活に支障が起きないように、森林法に林地開発許可制度が定められています。森林法第10条の2で、地域森林計画対象森林（森林法第5条）の中で「1ヘクタールを超える開発を行う場合には知事の許可を受けなければならない。」と定められており、森林保全課は本制度により森林を乱開発から守り、森林の土地の適正な利用を図っていくことで、県民生活の安定と地域社会の健全な発展を図れるよう指導に努めています。

### 森林の大切な4つの働き

開発の許可をするに当たって、特に大切な次の4つの森林の働きが損なわれないように厳正かつ公平に審

査を行なっています。

- ① 土砂流出等の災害を防ぐ働き
- ② 水害を防ぐ働き
- ③ 水源をかん養する働き
- ④ 環境を守る働き

これら4つの森林の働きは、森林がそこに存在することで果たされている重要な機能であり、森林を開発するにあたってはこれを阻害しないような計画内容となっている必要があります。

これら審査の基準である「静岡県林地開発許可審査基準及び一般的事項」や、申請書の記載事項を定めた「静岡県林地開発許可申請書記載要領」は静岡県森林保全課のホームページで公表しておりますので、御利用ください。

### 市町等が開発を行うには

国、地方公共団体、又は国や地方公共団体とみなされる団体が行う開発行為並びに省令で定められた土地区画整理法や電気事業法などに基づく公益性が高い事業の施行として行われる開発行為は、許可が不要とされています。

これは、これらの事業が民間の模範として本制度の趣旨に沿って開発行為が行われるものであり、また、行政組織を通じて指導の徹底を期することにより、この許可制度の趣旨が貫徹されることから、許可の対象外となっているものです。したがって、これらの機関が開発行為を行う場合は、本制度の趣旨に即して適切に開発行為を行う責務があります。

県では、本制度の趣旨を徹底するとともに開発に係る情報を収集する

ため、市町等が許可制の適用のない開発行為を行う場合は、県知事にあらかじめその計画内容を通知することを森林法施行細則第10条で規定しており、その事務手続きを「連絡調整」と呼んでいます。

### 小規模開発で必要な县市町等の連携

県では、林地開発許可制度の対象とならない1ヘクタール以下の小規模な開発行為についても、適正な森林の利用を促すため、昭和60年度からその実態把握に努めてきました。平成11年4月から森林法10条の8に基づく「伐採及び伐採後の造林届出書」の届出が市町に移譲されましたが、引き続き届出書において、伐採跡地の利用が植栽以外の目的に係るものについては、市町、農林事務所及び他の法令を担当する関係機関と連携を図り、その内容を把握し、災害の防止等の措置や違法開発へと波及しないよう、適正な指導を行っています。

なお、個々の開発が1ヘクタール以下であっても、事業者や開発内容等から一体の開発行為と判断し、その総面積が1haを超える場合には、林地開発許可の対象となる場合があります。このような場合は、市町、農林事務所及び関係機関が連携を取り、早めに情報を共有し、対応していく必要があります。

### 自然にやさしい開発を

森林の持つ4つの重要な機能のうち、環境を守る働きは施設で代替できるものではなく、森林でしか果たせません。森林を開発する場合には、周囲に森林をできるだけ残したり、苗木を植栽して森林を造成する場合は苗木の生育を助ける工夫をするなど、自然にやさしい開発を計画し、開発と森林保全を両立していく必要があります。

自然と共生し、環境と調和した明るく住みよい地域を作るために、皆様の御協力をお願いします。

# 県庁だより②

## 「狩猟解禁」

くらし環境部環境局自然保護課

11月15日から始まる狩猟期間と狩猟免許について、最新の情報を自然保護課から紹介していただきました。

### 狩猟免許制度と猟期の解禁

今年も狩猟のシーズンがやってまいりました。今回は、狩猟の解禁と狩猟免許の制度についてお伝えいたします。

### 狩猟解禁は11月から

狩猟期間は11月15日～2月15日です。しかし、静岡県では、生息数が増えすぎている大型獣の捕獲対策の一つとして、特別に「イノシシ、ニホンジカのわな猟のみ」猟期を前後

2週間拡大しています。

- ・狩猟期間 11月15日～2月15日
- ・イノシシ、ニホンジカのわな猟のみ11月1日～2月末日

狩猟できる鳥獣は限定されており、イノシシやニホンジカなどの獣類が20種、マガモやキジバトなど鳥類が28種です。ニホンザルやカモシカ、ドバトなどは狩猟できません。

静岡県では例年、県内外合わせて5千人以上の狩猟者登録がありますが、同時にこの時期は、ハイキング

や山菜採りなど一般者も山野に出入りする季節でもあります。よって、狩猟期間中は不特定多数の人が出入りしている可能性に注意する必要があります。

### 狩猟免許の種類

鳥獣保護法により、野生鳥獣は原則として捕獲できません。一部の特例を除き、狩猟によって捕獲するか、許可を得て捕獲するかになります。

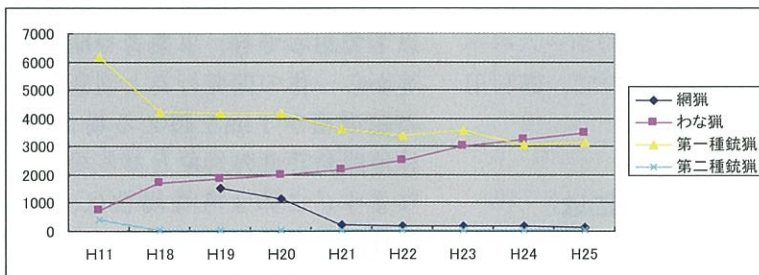
狩猟をするには毎年度ごとに狩猟者登録が必要で、猟具に応じた狩猟免許が要件です。取得するには、狩猟免許試験に合格しなければなりません（更新期間は3年）。

- ・網猟免許
- ・わな猟免許
- ・第一種銃猟免許（散弾銃、ライフル銃、空気銃）
- ・第二種銃猟免許（空気銃）

### 急増中のわな猟免許者

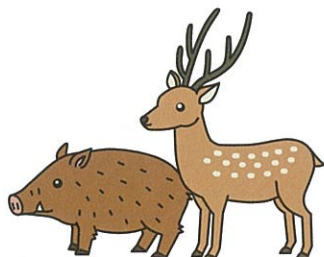
「わな猟免許」は、柵の設置と並ぶ農林業生産者の自衛手段の一つとして近年、取得者が増える傾向にあります。設置する場所や方法に経験が必要ですが、銃ほど規制が厳しい点が魅力です。狩猟の入門編として、わな猟免許を目指してみませんか。

○県内の狩猟免許所持者の推移



○狩猟期間中に県内で捕獲された主な鳥獣 (平成 25 年度)

獣類	頭数	鳥類	羽数
イノシシ	3,775	キジバト	1,957
ニホンジカ	4,063	ヒヨドリ	1,812
タヌキ	98	カモ類	1,411
ノウサギ	77	キジ (オス)	538
ハクビシン	66	カラス類	356
アナグマ	26	スズメ	274
タイワンリス	19	コジュケイ	230
アライグマ	11	カワウ	112



○平成 26 年度第二回狩猟免許試験

試験日	平成 27 年 2 月 15 日 (日)
試験会場	富士、藤枝、北遠の県総合庁舎
免許種目	わな猟、第一種銃猟、第二種銃猟
申請手数料	5,200 円 (他の狩猟免許を有する者 3,900 円)
受付期間	12 月 15 日 (月) ~ 1 月 16 日 (金)
受付場所	住所地を管轄する県農林事務所 (森林整備課)
合格発表	3 月上旬

○静岡県猟友会主催による予備講習会 (予定)

講習日	平成 27 年 1 月 10 日 (土)
試験会場	静岡労政会館 (静岡市内)
受講料	7,500 円
受付期間	11 月 4 日 (火) ~ 12 月 5 日 (金) 先着 300 人
問い合わせ	一般社団法人静岡県猟友会 事務局
申込先	(電話 054-253-6427 FAX054-253-6435)

# 県庁だより③

## ～業種や分野の垣根を越えて取り組む、 環境教育・学習の意義や可能性を探る～ 「環境教育におけるネットワーク構築に 向けて始動しました!!」

くらし・環境部 環境局 環境ふれあい課

### 環境学習フェスティバル

環境教育ネットワーク推進会議を経て、構築したネットワークを活かすイベント「環境学習フェスティバル」を1月～2月に開催します。

このイベントは、環境学習への参加機運を高めるとともに、地域に根差した環境学習の機会充実を図るため、多様な主体との協働により、環境学習会を一斉に展開するものです。

今回開催した「環境教育ネットワーク推進会議」を契機に、今後、新たな環境学習会が企画・実施されていくことを目指してまいりますので、注目してください。

県は、実施される環境学習会の情報をリーフレットやホームページ等を活用して県民の皆様へ発信し、環境教育の多様な機会を設けます。

### おわりに

ネットワークはようやくスタートしたばかりです。今後、情報の集約と発信、問題意識の共有、相互支援、県民へのきっかけづくりなどを積極的に進めていく予定です。

現在、総勢約140名の方が環境教育ネットワークに参加しています。

環境教育に関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ、静岡県環境ふれあい課環境教育班まで、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

TEL 054-221-2919

E-mail fureai@pref.shizuoka.lg.jp

業種や分野の垣根を越えて取り組む環境教育ネットワークについて環境ふれあい課から紹介していただきました。

### はじめに

県では、企業、社会教育施設、NPO、環境学習指導員、行政等による多様な主体の特性を活かした環境教育・学習の協働による取組を推進し、地域における環境学習の担い手としての参加促進を図るため、「環境」をキーワードに自由に参加できる、ネットワークの構築を目指しています。

### 環境教育ネットワーク推進会議

そこで、具体的な取組として、「環境教育ネットワーク推進会議」を伊豆・東部、中部、西部の3地域で開催しました。

この会議では、各会場約30～50名が参加し、地域内で連携した環境学習を実施するため、現状と課題への共通理解を深めました。

参加者はそれぞれが取り組んでいる環境教育の内容を紹介し合ったり、

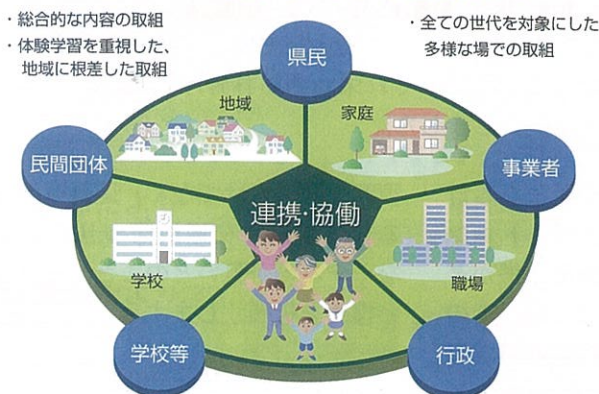
連携型の実践例の報告をしたりして、お互いを知り、交流を深めました。参加者からは「今まで交流したことのない団体と顔の見える関係が築けた。」「各団体のスキルを持ち寄ることで面白い事ができそうだ。」と評判は上々。

「推進会議の次回開催を計画してほしい」という多数の声を踏まえ、今後は会議のウエイトを「交流」から「連携」へ移行していきたいと思えます。



▲ネットワーク推進会議の風景

### 場をつなぐ・主体をつなぐ・施策をつなぐ



▲ネットワークイメージ図



▲ネットワークメンバーで記念撮影

# 本部情報

## 【今年度の治山・林道等の優秀工事が決まりました】

山林協会では、治山・林道・森林整備等工事の中で、施工の優れた工事や木材を積極的に工夫して使用し

た施工者を顕彰し、森林土木技術者の育成と施工者の技術向上を図る「治山・林道等コンクール」を毎年実施

しています。

今年度も各農林事務所から多数の推薦を頂き、慎重な審査の結果、エントリーされた下記の工事に対し山林協会会長賞を授与することとなり、10月24日に表彰式を執り行いました。

いずれの工事も、急峻で狭隘な作業現場条件での優れた技術力や創意工夫のほか、安全な工事施工についても高く評価されました。

### 受賞者の皆さん!!

受賞者	施工地	工事名
佐野藤建設(株)	富士宮市猪之頭	25 治山（復旧）内野（24繰越）工事
(株)望月土木	静岡市清水区興津本町	24 治山（減災対策）登ノ段工事
(株)グロージオ	島田市笹間下	24 治山（復旧）西向沢工事
鈴木土建(株)	周智郡森町	25 治山（予防）下田（24繰越）工事
森吉組(株)	浜松市天竜区龍山町	25 治山（復旧）中羽根（24繰越）工事
(株)山俊市川組	静岡市葵区大岩	25 県単治山（局地豪雨）船原工事
西伊豆貨物自動車(株)	賀茂郡松崎町岩科北側	25 森林管理道青野八木山線3工区（24繰越）工事
青木興業(株)	伊豆市小土肥	25 森林基幹道土肥戸田線（24繰越）工事
(株)小松組	浜松市天竜区春野町	24 山村道路整備等春埜山線2工区工事
三村建設(株)	島田市川根町身成	25 林業専用道整備京柱線3工区（24繰越）工事
いなずさ林業	賀茂郡河津町見高	25 治山（保安林改良）見高（24国繰）工事



(株)望月土木



(株)グロージオ



鈴木土建(株)



森吉組(株)



青木興業(株)



(株)小松組



(株)山俊市川組



三村建設(株)



いなずさ林業



佐野藤建設(株)



佐野藤建設(株)

その中でも特に優れた「25治山（復旧）内野（24繰越）工事（佐野藤建設(株)）」と「25森林管理道青野八木山線3工区（24繰越）工事（西伊豆貨物自動車(株)）」の2件を、（一社）日本治山治水協会・日本林道協会が主催する工事コンクールへ推薦したところ、それぞれ栄えある林野庁長官賞、日本林道協会会長賞を受賞しました。

## 事務局だより

### 陸前高田市の震災復興

10月、岩手県陸前高田市の震災復興現場を視察する機会を得た。震災後3年半が経過し、ガレキの山は片付けられ、市街地復興のため、盛土工事が進められていました。隣接する山を削り、

740万立米、最大10mの盛土となる計画で、銀色に光る巨大なベルトコンベアが縦横に架設され、土砂運搬がダイナミックに行われていました。その延長は3kmにも及び架設費用は120億円、1日当たりの運搬量は約2万m<sup>3</sup>。11tダンプ4,000台に相当するそうだ。この工法を採用したのは一日も早い

復興を図るだけでなく、工事車両による交通事故や交通渋滞のリスクを少なくするのが狙いとのこと。一日も早い復興を祈願致します。（橋本）

公益社団法人  
「森と人」 静岡県山林協会  
編集・発行 静岡市葵区追手町9-6 県庁西館9F  
TEL:054-255-4488/FAX:054-255-4489



# 平成26年度 しずおか森林写真コンクール入賞作品



## 最優秀賞

### トレーニング

加藤 智子 (富士市)  
撮影地：御殿場市深沢東

## 審査講評

審査委員長  
竹林 喜由

この写真コンクールも今回31回目となりましたが、過去30年間にわたる永い期間、審査委員長を担当され立派なコンクールに育て上げられた三井章二先生には心より御礼申し上げます。

本年より審査委員長を担当させて頂くことになりましたので、この伝統を守りながらより一層、森林や林業の素晴らしさ、重要性を広く啓発できるコンクールにしていきたいと考えております。

今年度の応募総数338点(応募人員114名)と前年より103点の増加となっており、9月17日に7名の審査員により審査が行われました。作品の内容を見ますと全国規模のコンクールにも勝るとも劣らない内容のレベルの高さで、さすが写真王国静岡県と言えるものでした。

最優秀賞(静岡県知事賞)には、加藤智子さんの「トレーニング」に決定しました。最近盛んに行われているツリークライミング(木登り)の練習風景で、今では指導員もいて安全なスポーツとして認知されています。大人も子供も一緒に楽しんでいる様子がうまく捉えられています。人物の配置や色彩も

よく、自然で素直なカメラアングルも好感が持てます。

特選(山林協会賞)には、寺田稔氏の「木材切り出し」と武智是朗氏の「色取りの里」の2点に決定いたしました。

「木材切り出し」は作業員が木材をチェーンソーで切っている状況を捉えたものですが、木屑の飛び散る様子から、チェーンソーのエンジン音が聴こえてくる様な迫力ある画面になっています。

「色取りの里」は天城の山林に咲くシャクナゲの花を捉えています。木立の中に密集して咲く花が見事で、画面構成も秀逸で力強い写真になっています。

準特選には杉本昌弘氏の「サーカス団」、石神俊一氏の「菌の植付作業」、綾木恵子さんの「家族の茶園」、鈴木信子さんの「ブルーライン」、駒形多禾次氏の「坂道を行く山車」が入りました。

「サーカス団」は山の法面の保護のためのアンカー工事の状況です。急斜面で作業する作業員の命綱とアンカーの幾何学模様が不思議な風景を作り出しています。カメラアングルも良く工事の難かしさを的確に表しており良い写真だと思います。

「菌の植付作業」はクヌギ、コナラ等のホダ木に椎茸の菌を植付けている作業風景を捉えており、前面にホダ木を広く入れたことで作業の全貌が良く表現されています。

「家族の茶園」春の暖かな日差しの中での新茶の摘み取り風景です。お茶の新緑と柿の若葉の緑が眩しく、バックの暗いヒノキ林がより一層新緑を引き立てています。三人の人物の中心の女性の表情が見えるシャッターチャンスも秀逸です。

「ブルーライン」木材搬出作業のトラックへの積み込み時の良いシャッターチャンスをモノにしています。トラックとクレーン、そして作業員の服の色がブルーであったことが、色彩的にも面白く良い被写体に巡り合いました。画面構成も良いと思います。

「坂道を行く山車」山深い里の祭りのようです、見物人も見当たりませんが、村人の老若男女が楽しげに祭りの山車を曳いて坂道を登ってきます。遠景の山々や、坂道の傾斜から相当高い場所であることがわかり、状況を捉えるカメラポジションが最良だと思います。歴史を守り継ぐ祭がいつまでも残ることを望みます。

その他入選に20点が選ばれましたが、今回入賞を逃した作品いずれも力作で順位決定に大変苦慮いたしました。又、次回も多数の力作の応募があることを期待致します。



特選

### 木材切り出し

寺田 稔 (静岡市駿河区)  
撮影地: 静岡市葵区落合



特選

### 色取りの里

武智 是朗 (小田原市)  
撮影地: 天城道の駅



準特選

### サーカス団

杉本 昌弘 (藤枝市)  
撮影地: 川根本町



準特選

### 家族の茶園

綾木 恵子 (静岡市葵区)  
撮影地: 静岡市葵区有東木



準特選

### 菌の植付作業

石神 俊一 (焼津市)  
撮影地: 伊豆市修善寺



準特選

### ブルーライン

鈴木 信子 (周智郡森町)  
撮影地: 浜松市天竜区阿多古



準特選

### 坂道を行く山車

駒形 多禾次 (島田市)  
撮影地: 浜松市田能



入選

杉木立の中で

四ノ宮 勝司 (焼津市)

撮影地：島田市金谷坂町 (東海道石畳み)



入選

木材の搬出

福岡 寿郎 (周智郡森町)

撮影地：神社境内



入選

寄り添う親子

矢部 弘 (磐田市)

撮影地：浜松市浜北区不動寺の森



入選

大丈夫「無念無想で一割りだ」

秋山 富雄 (磐田市)

撮影地：浜松市天竜区笹木立



入選

安全確認中

藤森 佐一 (浜松市浜北区)

撮影地：浜松市天竜区春野町新宮池

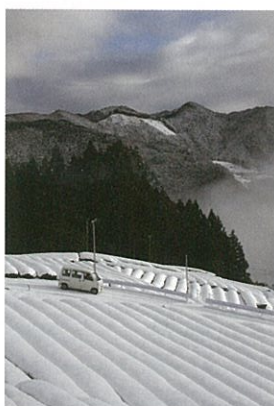


入選

炭焼きの体験

佐藤 守 (浜松市中区)

撮影地：浜松市浜北区根堅  
浜北森林公園内



入選

積雪

望月 信明 (静岡市清水区)

撮影地：静岡市葵区大代



入選

アユ釣り

黒田 敏夫 (静岡市清水区)

撮影地：静岡市清水区立花



入選

野火延焼

望月 正晴 (静岡市清水区)

撮影地：富士宮市下条



入選

森林を守る

山崎 俊泰 (掛川市)

撮影地：浜松市天竜区佐久間町



入選

**美人揃い**

青島 隆 (磐田市)  
撮影地：天竜区熊



入選

**皆で植樹**

森 勇 (静岡市葵区)  
撮影地：静岡市葵区富厚里 だいらぼう



入選

**自転車で森林浴**

丸山 賢治 (愛知県豊川市)  
撮影地：天竜区水窪町山住



入選

**記念撮影**

石上 美樹 (静岡市葵区)  
撮影地：静岡市葵区桂山



入選

**光芒の輝き**

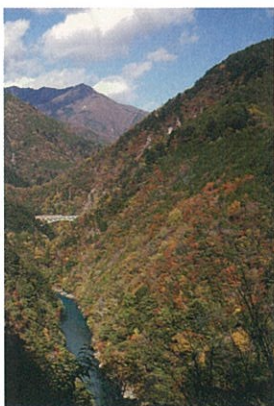
長房 徳正 (静岡市駿河区)  
撮影地：富士市須津川上流



入選

**芽吹き鮮やかに**

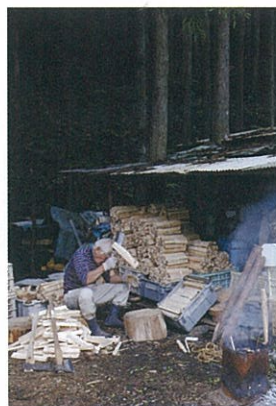
岡本 芳隆 (神奈川県横須賀市)  
撮影地：静岡県駿東郡小山町須走



入選

**森山への旅路**

山川 哲司 (浜松市中区)  
撮影地：川根本町



入選

**冬に備え**

塚本 清次 (静岡市駿河区)  
撮影地：葵区梅ヶ島



入選

**松並木を行く**

石川 金吾 (静岡市清水区)  
撮影地：清水区三保 松原



入選

**丸太ひとすじ**

鈴木 左知子 (周智郡森町)  
撮影地：天竜市山東